

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 26 年 9 月 11 日 (2014.9.11)

【公開番号】特開 2014-90774 (P2014-90774A)
 【公開日】平成 26 年 5 月 19 日 (2014.5.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-026
 【出願番号】特願 2012-241546 (P2012-241546)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 7 月 29 日 (2014.7.29)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技を実行可能な遊技機であって、

動作を行う可動部材と、

遊技機への電力供給が停止しても所定期間記憶内容を保持可能であり、制御を行う際に発生する変動データを記憶する変動データ記憶手段と、

遊技機への電力供給が開始されたときに、所定条件の成立にもとづいて前記変動データ記憶手段の記憶内容を初期化する初期化処理を実行する初期化手段と、

前記初期化手段によって前記初期化処理が実行されることにもとづいて、初期化報知を実行する初期化報知手段と、

遊技機への電力供給が開始されたことにもとづいて、前記可動部材の初期動作を実行する初期動作実行手段とを備え、

前記初期動作実行手段は、前記初期化報知手段による前記初期化報知を終了した後に、前記可動部材の初期動作を実行し、

特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、

異常報知の実行中において、前記特定演出実行手段による前記特定演出の実行を規制する規制手段と、を更に備えた、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 0】

(手段 1) 本発明による遊技機は、遊技を実行可能な遊技機であって、動作を行う可動部材(例えば、第 2 の実施の形態における可動部材 7 8 や演出羽根役物 7 9 a, 7 9 b などの役物)と、遊技機への電力供給が停止しても所定期間記憶内容を保持可能であり、制御を行う際に発生する変動データを記憶する変動データ記憶手段(例えば、バックアップ R A M としての R A M 5 5)と、遊技機への電力供給が開始されたときに、所定条件の成立

(例えば、クリアスイッチのオン)にもとづいて変動データ記憶手段の記憶内容を初期化する初期化処理を実行する初期化手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560におけるステップS10を実行する部分)と、初期化手段によって初期化処理が実行されることにもとづいて、初期化報知を実行する初期化報知手段(例えば、第2の実施の形態において、演出制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS3101~S3111を実行する部分)と、遊技機への電力供給が開始されたことにもとづいて、可動部材の初期動作を実行する初期動作実行手段(例えば、第2の実施の形態において、演出制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS708を実行する部分)とを備え、初期動作実行手段は、初期化報知手段による初期化報知を終了した後に、可動部材の初期動作を実行し(例えば、第2の実施の形態において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS3502でYと判定したことを条件にステップS3503以降の処理に移行して役物の初期動作を実行する)、特定演出を実行可能な特定演出実行手段(演出制御用マイクロコンピュータ100)と、異常報知の実行中において、前記特定演出実行手段による前記特定演出の実行を規制する規制手段(演出制御用マイクロコンピュータ100)と、を更に備えた、ことを特徴とする。そのような構成により、初期化処理が実行されたときに初期化報知と可動部材の初期動作とにかかる電力消費を分散することができる。